



題字は斎藤邦吉先生書

発行所 昭和48年3月14日 厚生省環第171号認可 全国環境整備事業協同組合連合会 103-0027 東京都中央区日本橋2-9-1 竹一ビル4階 TEL (03) 3272-9939 FAX (03) 3272-9938

環境整備事業関係広報紙 【3月号】 本紙は一般廃棄物・浄化槽保守点検清掃・産業廃棄物等の取扱業者による全国団体の広報誌です。会員・関係企業・官公庁・地方公共団体に頒布しております。

全国環整連

第45回全国大会(東京)ニューオータニで 第4回理事会後の新年懇親会に200人出席

全国環境整備事業協同組合連合会(玉川福和会長)は1月24日、東京・一ツ橋の如水会館・スターホールで平成30年度第4回理事会(写真上)と新年懇親会を開催した(関連記事2面・5面)。理事会の活動報告では、各委員会、青年部の取り組み状況が報告されたほか、平成31年度の秋に東京で開催する「第45回全国大会」の会場、日程案について宮原靖明大会実行委員長が説明。会場の品質、予算、交通・宿泊の利便性等を総合的に検討した結果、10月15日(火)・16日(水)に千代田区紀尾井町のホテルニューオータニで開催することを提案した。理事会終了後は同会場で新年懇親会が開催され、自民党の渡海紀三朗衆議院議員、公明党の石田祝稔政務調査会長、立憲民主党の川内博史衆議院議員、国民民主党の前原誠司衆議院議員、自由党の森ゆうじ幹事長など野党の幹部が駆けつけ、全国環整連の活躍に期待し挨拶を述べた。



理事会は午後1時半から開会し、玉川会長は冒頭挨拶で「ちょうど20年前、ごみの自由化が突然発表され、環整連を中心に結束し阻止したことがあった。また同じようなことが形を変えて起きる可能性が有る。従って青年部も現在の法律を熟知する中で緊張感を持ち、体制づくりをしていく必要があると思う」と述べた。

引き続き玉川会長が議長となり議事に入り、合理化適正・下水道農集委員会、浄化槽委員会、循環資源委員会、広報編集委員会、青年部の取り組み状況が報告された。



また浄化槽委員会は、タブレットを活用した浄化槽維持管理実務「電子カルテシステム」の表示機能の向上を報告。今後は現場に携わる人からの意見を取り入れ、より維持管理業務の内容向上を図るとした。

合理化適正委員会は冒頭、牧野委員長が健康上の理由で辞任する旨が報告され、後任に田中禎一委員長が委員長に就任した。田中委員長が活動報告を行い、奈良市、徳島市、鳴門市、千葉県東金市で進めている現地支援行政交渉の進捗を説明した。

目次

- 1面：第4回理事会、新年懇親会開く
2、5面：新年懇親会に 各界から来賓多数
6面：岐浄連の実務者研修会に1375人

ことを提案し、満場一致で承認された。以上で全ての議事の審議を終え、黒瀬副会長の閉会挨拶で理事会を終了した。
引き続き同会場で新年懇親会が開かれ全国環整連の組合員をはじめ、与野党の国会議員、環境省の幹部、関係団体の役員など200名が出席した。



全国環境整備事業協同組合連合会 会長 玉川 福和

1月理事会 挨拶

新年明けましておめでとございませう。今日の朝は青年部会に出席させていただきます。少し話したことをお伝えさせていただきます。

青年部会の中に、環整連と同じ委員会を設置して欲しいとお願ひしました。青年部は環整連とやるのが違ってはいけない、もう一点お話ししたのは、ちょうど20年前の平成10年に、ごみの自由化ということが突然、発表され環整連を中心に

環整連を原田環境相が表彰

環境省 西日本豪雨など災害支援活動に

環境省は号などの被災地域に対し12月19日、物的支援活動を行った災害対応活動を表彰した。
大臣表彰 団体表彰
式を行い、同日、午前9時半からの原田大臣 式の冒頭、環境大臣 式の冒頭、原田環境相は「収集運搬、整備をば「仮置き場の管体代表者 理、処理施設に感謝の意を述べた。
これは昨組んでいただいた」とおた協力など支援活動を行った団体に表彰状(写真)を手渡した。



短絡的な規制緩和 関係法令熟知を

自由化するとした制度改正を阻止したことがありました。あの時を思い出しますと、規制緩和と称してオリックスの宮内さんが、委員長でありながら規制緩和をした事業を行っていたということがありました。同時に進行していたのは、それに乗じて浄化槽の清掃業を登録制にする案が環境省にあったわけです。従ってそれも一緒に粉砕した。
振り返りますと、ごみの自由化でありますから誰もが出来るようになるという風潮でありましたけれど、どうもそうではない。いまの宅配便の業界などは、自由化と称して全国を3社で行っている。ヤマト運輸と佐川、そして日本郵政が行っている訳であります。契約行為はその3社が行い、実態は小さな業者が朝から晩まで走り回るわけです。
我々もそういうところに陥る途上があったわけでありませうけれども、今後また同じようなことが形を変えて起きる気がします。
従って青年部も現在の法律を熟知する中で、変化を読み取る目と耳を持ってみんなの代わりをする。こういうことを以って体制作りをしていく必要があると思ひます。
今日は新年会がありますけれども、その辺りも含め理事会を進めていきますのでよろしくお願ひいたします。

全国環整連

国、行政、業界、住民の信頼獲得へ決意新たに 新年懇親会に国会、関係省から来賓多数

全国環整連・平成 30 年度第 4 回理事會終了後は、午後 6 時から新年懇親会を開催した。関係省幹部、関係団体から多数の出席があり、国会からも自民党の渡海紀三朗衆議院議員、公明党の石田祝稔衆議院議員、山本博司参議院議員、立憲民主党の福山哲郎参議院議員、川内博史衆議院議員、国民民主党の前原誠司衆議院議員、新党大地の鈴木宗男代表など多くの与野党議員が駆けつけた。

玉川会長は冒頭で、「昨年の日本は、役人も政治ももうそをつくといい雰囲気です。閉じた。しかし新年が明けてもまた始まったかという感覚がある。一番怖いのは政治と行政に信頼がなくなる。国民が振り向かなくなるような今の状態は極めて良くない。これは与党、野党、いずれも厳しく問うべきだろう。日本人が勤勉で、世界に誇れる国民であることは事実だが、行政と政治の世界からそれが崩壊しつつあるのではないか。このことだけは政治の皆さんに正していただきたい。業界のことは構っていただかなくても結構。確かな国だけを作り上げていただきたい」と挨拶した。

次いで来賓挨拶で渡海議員は「厳しいご指摘をいただいたが、全く異論はない。日本は議院内閣制で、私も国会議員も心してかかるべきと考えている。与党、野党関係なく、しっかり国民の信頼を得られるよう頑張っていきたい」と祝辞を述べた。

また石田衆議院議員は「政治に携わる者として襟を正したい。先ほど業界の事はいいと言われたが、環境を守るのは大事なことで、引き続き私たちがしっかり連携し取り組みたい」と挨拶し、川内議員は「効率化、合理化あるいは競争ということが様々な分野で言われるが、平成 26 年の最高裁判決で環境行政に関わる分野では、一般廃棄物処理に関わる方々がきちんと仕事を続けられる環境作りが大事だ」と判断が示された。環整連は新しい時代のあり方を指し示している団体だと感じています。政府・与党の先生方と議論し、今年は本当に国民から信頼される政治、行政を作っていく」と新年の決意を述べた。前原衆議院議員は「玉川会長から業界より国家としての先行きを心配されるご挨拶があった。今月 28 日から始まる通常国会について、私もしっかりとした姿勢で取り組んでまいりたい」と挨拶した。

乾杯の発声には山本参議院議員が立ち、「昨年は環境委員会、単独処理浄化槽の合併転換に係る宅内配管工事費助成について質問させていただいた。次は浄化槽法の改正を目指して前進してまいりたい。これは超党派皆さまの決意でもある」と述べ、全国環整連、浄化槽のさらなる発展を祈念して杯を掲げた。

また環境省からも山本昌宏環境再生・資源循環局長、松田尚之浄化槽推進室長など多数の幹部が出席し、山本局長からは祝辞が述べられた。



乾杯の発声をした
山本博司参議院議員
(公明)



小島敏文衆議院議員
(自民)



石田祝稔衆議院議員
(公明)



渡海紀三朗衆議院議員
(自民)



佐藤英道衆議院議員
(公明)



秋葉賢也衆議院議員
(自民)



全国環整連の発展を祈念し乾杯した

こだわりの製品を 追いつける会社



フレス式塵芥車
フレスマスター



電動回転式塵芥車
E-SEV



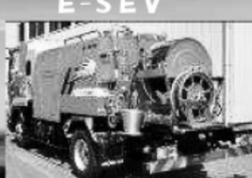
EP-2
(バキュームカー)



強力吸引車
パワフルマスター



浄化槽水リサイクル車
ウォーターマスター



高圧洗浄車
ハイプレクリーナー

株式会社 **モリタエコノス**
 ■全国販売網及びサービス網

本社工場 〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク28番地 Tel.079(568)2006

仙台支店 Tel.(022)237-4171(代) 埼玉支店 Tel.(048)777-1891(代) 千葉支店 Tel.(043)243-2737(代) 東京支店 Tel.(03)5569-1740(代) 西東京営業所 Tel.(042)568-2971(代) 新潟営業所 Tel.(025)265-0276(代)	神奈川支店 Tel.(045)505-0031(代) 静岡営業所 Tel.(054)281-2388(代) 名古屋支店 Tel.(052)882-4571(代) 関西支店 Tel.(072)947-2121(代) 京都営業所 Tel.(075)631-3391(代) 広島支店 Tel.(082)893-2231(代)	四国支店 Tel.(087)841-3330(代) 福岡支店 Tel.(092)591-1201(代) 鹿児島営業所 Tel.(099)282-8352(代)	代理店 北海道モリタ Tel.(011)721-4114(代) 北海道特殊自販機 Tel.(011)784-4222(代) 沖縄モリタ特殊サービス Tel.(098)77-6677(代)
---	--	---	--



新発売

逆洗式浄化槽には、これ1台。

18通りの作動プログラムインストール済!

警報器が、
光とブザーで異常を知らせます。



自動逆洗式ブロウ
LAG-80E

☆お問い合わせは、お取り扱い販売店様へおたすねください。



簡単プログラム設定



警報器付ブロウ
LAA-80

逆洗・ばっ気の切り替えが可能
右ばっ気、左ばっ気が1台で対応可能。

手動逆洗6・12・168(7日間)時間
長時間設定可能。(通常10分)

長寿命

突然停止しない

らくらくメンテナンス

リニア駆動フリーピストン方式

メドーブロウ

修理研修受付中/デモ機依頼お気軽に!
 技術で、人を想う。
日東工器株式会社

モドー事業部 リニア販売部
 〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258

www.nitto-kohki.co.jp

この水、なんだか、気持ちイイ。



ハイライトグリーン

生活や産業で使った水を、きれいな水に再生して自然にかえす。

日産化学のハイライトグリーンは、優れた溶解性でより高い汚水処理効果を発揮する、合併・単独浄化槽のための殺菌・消毒剤です。

あらゆるニーズにお応えできるよう、形状・サイズも豊富にラインアップ。

錠剤に合わせて各種薬筒も取り揃えています。



お問い合わせ詳しい資料のご請求は…



日産化学株式会社

化学品事業部 ファインケミカル営業部

本社：東京都中央区日本橋二丁目5番1号 TEL.03(4463)8150
 大阪：TEL.06(6346)7130 福岡：TEL.092(432)3422

金沢から
全国、海外に...

誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

エアポンプブローア 水中ポンプ・陸上ポンプ 給水ポンプ・薬注ポンプ 水質検査器・理化学機器
ガス検知器・送排風機 配水管清掃機器・薬剤 各種産業用ベルト・ホース 浄化槽用消毒薬・維持管理剤
電動工具・制御機器・記録紙 浄化槽関連部品・FRP補修剤 マンホール・その他

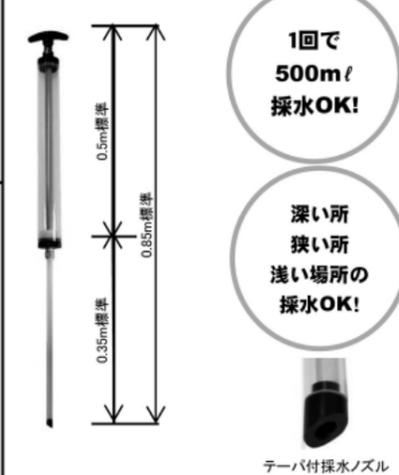
水処理関連機器の総合商社

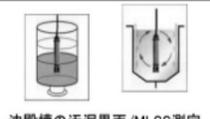
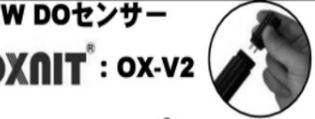
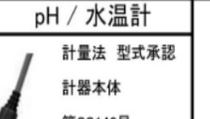
即答即配システムが当社のモットーです。

株式会社 日環商事
Nikkan

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地
TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348
FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718
E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp
http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101
TEL:087-813-7621 FAX:087-813-7011
九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目5番21号-7
TEL:092-558-4828 FAX:092-558-4827

測定値のバラツキが少ない、電子式透視度センサー		比色試験器	ピストン式採水器												
<p>プローブ型透視度センサー：TP-10Z</p> 	<p>一体型透視度センサー：TP-30</p> 	<p>アクアテスター、DPD試薬</p> <p>1Z / 2Z シリーズ (9段階測定) 7Z シリーズ (10段階測定)</p>  <p>DPD残留塩素測定試薬</p> <p>比色法、ニーズに対応、粉末分包試薬、液体試薬をラインナップ</p>  <p>DPD-GL-10 DPD-WA-50 DPD-F-1 DPD-TL-1 DPD液体試薬 遊離残留塩素試薬 全残留塩素試薬</p>	<p>ミズテッポ1号/2号</p>  <p>1回で500ml採水OK!</p> <p>深い所 狭い所 浅い場所の採水OK!</p> <p>0.5m標準 0.85m標準 0.35m標準</p> <p>テーパ付採水ノズル</p>												
<p>従来 透視度測定は従来JIS法に基づく 目視測定式透視度計が用いられています。 問題・対策 目視式は測定環境の影響が大きい。 電子式透視度センサーは安定した測定を実現。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>プローブ型</td> <td>一体型</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>TP-10Z</td> <td>TP-30</td> </tr> <tr> <td>測定方法</td> <td>採水/投込</td> <td>採水</td> </tr> <tr> <td>測定範囲</td> <td>2~200cm 0~2Abs</td> <td>2~200cm</td> </tr> </table>			プローブ型	一体型	型式	TP-10Z	TP-30	測定方法	採水/投込	採水	測定範囲	2~200cm 0~2Abs	2~200cm	<p>濁度、PH/ORP計、DO計、塩素イオン計 レーザー濁度計、導電率計、電磁濁度計 COD計、各種試薬・標準液、ETC</p> <p>KRK 笠原理化工業株式会社</p> <p>本社: 埼玉県久喜市吉羽1-10-10 ☎0480-23-1781 FAX 0480-23-2749 URL http://www.krkjpn.co.jp</p>	
	プローブ型	一体型													
型式	TP-10Z	TP-30													
測定方法	採水/投込	採水													
測定範囲	2~200cm 0~2Abs	2~200cm													

MLSS / 界面計	MLSS計	溶存酸素計 DO計	pH / ORP計	pH計	塩素イオン計																								
<p>SS-10Z</p> <p>¥250,000</p>  <p>沈殿槽の汚泥界面/MLSS測定</p>	<p>SS-10F</p> <p>¥220,000</p>  <p>活性汚泥濃度測定</p>	<p>DO-10Z</p> <p>¥125,000</p> <p>NEW DOセンサー OXNIT : OX-V2</p> 	<p>KP-10Z</p> <p>¥95,000</p> <p>pH / ORP / 水温計</p> 	<p>KP-10F</p> <p>¥90,000</p> <p>pH / 水温計</p>  <p>計量法 型式承認 計器本体 第SS142号 電極 第S142号</p>	<p>CL-10Z</p> <p>¥170,000</p> <p>測定レンジ自動切替機能付</p> 																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>SS-10Z</td> <td>SS-10F</td> </tr> <tr> <td>測定範囲</td> <td>MLSS: 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深 0.00~5.00m</td> <td>無し</td> </tr> </table>		SS-10Z	SS-10F	測定範囲	MLSS: 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深 0.00~5.00m	無し		<table border="1"> <tr> <td>測定範囲</td> <td>DO: 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0°C</td> </tr> </table>	測定範囲	DO: 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0°C	<table border="1"> <tr> <td>型式</td> <td>KP-10Z</td> <td>KP-10F</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">測定範囲</td> <td colspan="2">0.00~14.00pH</td> </tr> <tr> <td colspan="2">0~±1900mVpH電極起電力</td> </tr> <tr> <td>0~±1900mV(ORP)</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">0.0~50.0°C</td> </tr> </table>	型式	KP-10Z	KP-10F	測定範囲	0.00~14.00pH		0~±1900mVpH電極起電力		0~±1900mV(ORP)	無し		0.0~50.0°C		<table border="1"> <tr> <td>測定方式</td> <td>鉛フリー対応でIP67相当の防水構造 固体膜塩素イオン電極法</td> </tr> <tr> <td>測定範囲</td> <td>0.1 ~ 2000mg/L</td> </tr> </table>	測定方式	鉛フリー対応でIP67相当の防水構造 固体膜塩素イオン電極法	測定範囲	0.1 ~ 2000mg/L
	SS-10Z	SS-10F																											
測定範囲	MLSS: 0~20000mg/L(表示は30000mg/Lまで) 水深 0.00~5.00m	無し																											
測定範囲	DO: 0.00 ~ 30.00mg/L 水温: 0.0 ~ 50.0°C																												
型式	KP-10Z	KP-10F																											
測定範囲	0.00~14.00pH																												
	0~±1900mVpH電極起電力																												
	0~±1900mV(ORP)	無し																											
	0.0~50.0°C																												
測定方式	鉛フリー対応でIP67相当の防水構造 固体膜塩素イオン電極法																												
測定範囲	0.1 ~ 2000mg/L																												
<p>各種DPD 残留塩素 測定試薬取扱</p> <p>DPD-GL-10: 1滴で測定100回分で5mL DPD-F-1(粉末遊離残留塩素測定試薬) DPD-TL-1(粉末全残留塩素測定試薬)</p>		<p>KRK 笠原理化工業株式会社</p>		<p>本社: 埼玉県久喜市吉羽1-10-10 ☎0480-23-1781 FAX 0480-23-2749 URL http://www.krkjpn.co.jp</p>																									



大島九州男参議院議員
(国民)



生方幸夫衆議院議員
(立憲)



前原誠司衆議院議員
(国民)



福山哲郎参議院議員
(立憲)



鈴木貴子衆議院議員
(自民)



馬淵澄夫前衆議院議員
(現＝無所属・衆議院議員)



鈴木宗男代表
(新党大地)



森ゆうこ参議院議員
(自由)



小宮山泰子衆議院議員
(国民)



川内博史衆議院議員
(立憲)



閉会の辞を述べる
黒瀬栄治副会長



環境省・山本昌宏
環境再生・資源循環局長

来賓一覧 (国会議員)

(敬称略・順不同)

氏名	所属	氏名	所属
渡海紀三朗	衆議院議員 (自民党)	川内 博史	衆議院議員 (立憲民主党)
秋葉 賢也	衆議院議員 (自民党)	福山 哲郎	参議院議員 (立憲民主党)
小島 敏文	衆議院議員 (自民党)	前原 誠司	衆議院議員 (国民民主党)
鈴木 憲和	衆議院議員 (自民党)	小宮山泰子	衆議院議員 (国民民主党)
鈴木 貴子	衆議院議員 (自民党)	岸本 周平	衆議院議員 (国民民主党)
二之湯武史	参議院議員 (自民党)	増子 輝彦	参議院議員 (国民民主党)
石田 祝稔	衆議院議員 (公明党)	大島九州男	参議院議員 (国民民主党)
佐藤 英道	衆議院議員 (公明党)	森 ゆうこ	参議院議員 (自由党)
山本 博司	参議院議員 (公明党)	鈴木 宗男	新党大地代表
生方 幸夫	衆議院議員 (立憲民主党)	馬淵 澄夫	前衆議院議員

来賓一覧 (省庁)

(敬称略)

氏名	役職
山本 昌宏	環境省 環境再生・資源循環局 局長
松澤 裕	環境省 大臣官房 審議官
富安健一郎	環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室長
松田 尚之	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 浄化槽推進室長



玉川会長

岐浄連

浄化槽実務者研修会に1375人

適正量引き抜きや電子カルテを研修

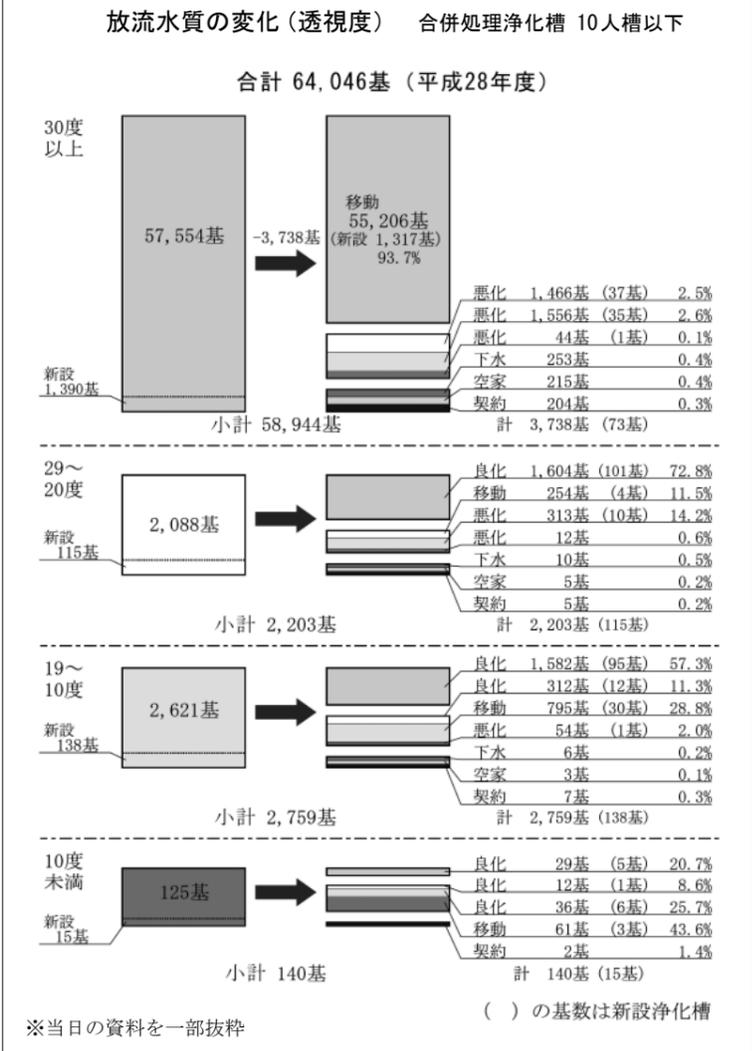
(公社)岐阜県浄化槽連合会(玉川福和会長)主催の浄化槽実務者研修会が、2月19日(3月5日の間)岐阜県環境会館(岐阜市)および飛騨・世界生活文化センター(高山市)の2会場で、計8回開催された(写真下)。浄化槽維持管理に関する最新の知見習得を目的としたもので、今年度は浄化槽汚泥の適正量引き抜きの効果と、タブレットによる浄化槽電子カルテシステムを中心とした保守点検、清掃、法定検査の3業種連携、水質改善事例、施工上の注意事項等について研修した。会場には行政議会からも出席があり、合計1375人が参加した。

このうち3月4日は、岐阜県環境会館で開催され、玉川会長の講義で始まった。

玉川会長(写真左)は「この研修会は法的拘束力が無いものだが、17年間続けている。中継の県民投票も政府は法的拘束力が無いと言っているが、あろうがなかろうが大切なことは、良いことは続けるということ」「我々の目標は私も皆も共有しておく必要がある。本日のテキストの中に、平成28年度の浄化槽放流水の透視度が示されているが、透視度30度以上だったのは新設1390基を含め5万8944基だった。これが全部そのまま推移する



玉川会長(写真左)は「この研修会は法的拘束力が無いものだが、17年間続けている。中継の県民投票も政府は法的拘束力が無いと言っているが、あろうがなかろうが大切なことは、良いことは続けるということ」「我々の目標は私も皆も共有しておく必要がある。本日のテキストの中に、平成28年度の浄化槽放流水の透視度が示されているが、透視度30度以上だったのは新設1390基を含め5万8944基だった。これが全部そのまま推移する



浄化槽はこのようにしなごい、そしてその結果良くなるか悪くなるか経過を観察する。また玉川会長は、浄化槽維持管理の3業種連携の重要性を説明した。



この研修会には行政議会からも出席があり、合計1375人が参加した。

また玉川会長は、浄化槽維持管理の3業種連携の重要性を説明した。この後は3業種による水質改善事例、保守点検、清掃からの報告、浄化槽電子カルテシステムの利点と変更点、行政からの報告、岐阜県浄化槽生涯機能保証制度と設置時の留意事項、浄化槽メーカーからの報告があり、参加者はそれぞれ熱心に説明に聞き入っていた。

括弧約、平成12年の浄化槽法改正と単独処理浄化槽の新設禁止の流れに触れ、さらに「私たちの仕事は法律に基づいており、不適正な事案があれば処分の対象になる。現実には管理者にも重い罰則がある。清掃を実施しなければ最高100万円、法定検査は最高30万円。森加計問題など、今の国会を見てみると、あんなところで法律ができるのかとも思うが、理解していただければ、知らぬうちに違反をし、処分対象者、最悪は欠格業者となってしまう。だからまずは法律を知る、そして組織が正しい運営をし、仲間を見殺しにせず絶えず正しい方向を向いていかなければならない。この基本原則を持って、いい仕事をす

環境省 残置物や廃エアゾール通知を説明

環境担当部長会議を開く

環境省は1月25日、省内で全国の都道府県および政令市等の担当者を対象にした「環境担当部長会議」を開催した(写真)。平成31年度予算の概要や近年の重要課題等について、環境省各部署から説明があり、一般廃棄物分野では昨年発出した「建築物の解体時等の残置物の取扱いについて」「廃エアゾール製品等の排出時の事故防止について」等の通知や、閣議決定された「廃棄物処理施設整備計画」の概要等について説明があった。

会議は午前10時に開会し、冒頭で森本英香環境事務次官は「今年度は日本でもG20が開催される。地球温暖化や海洋プラスチック問題について世界的取組が進展しており、日本もしっかりと対応してまいりたい」「また環境省は、環境問題と経済・社会的課題の同時解決を提唱しているが、コンセプトは非常に共感を得られており、連携して取り組んでまいりたい。環境問題に経済政策を重ねるというのは地域経済において非常に重要なことだ」と、産業政策、農業政策、地方銀行等の金融政策をリンクさせていく、こうした中身を今後具体的に話していく。本日の説明を受け、また皆さまからも意見をいただきました」と挨拶があった。

この後、各部署からの説明に移り、廃棄物適正処理推進課からは①適正処理の推進②循環型社会形成推進交付金③気候変動対策④廃棄物処理に係る研究・技術開発の推進⑤その他の5項目について説明があった。

このうち適正処理の推進では、例年繰り返されている一般廃棄物処理計画の策定および運用に係る6・19通知や10・8通知、排出事業者責任の徹底を求める3・21通知について重ねて説明があったほか、平成30年度に新たに発出された通



知として、6月22日付「建築物の解体時の残置物の取扱い」、12月16日付「廃エアゾール製品等の排出時の事故防止」が取り上げられた。

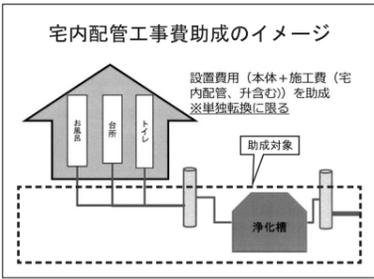
浄化槽予算を大幅刷新

宅内配管助成や新設補助一部廃止等

平成31年度予算案で、浄化槽整備推進事業に、浄化槽整備に係る循環型社会形成推進交付金の大幅刷新が図られた。単独処理浄化槽の合併処理浄化槽に転換する際の宅内配管工事費助成が創設された一方、今後の予算は単独転換、市町村整備推進事業を重点化するとし、個人設置型事業における新設補助が原則廃止となった。また助成率2分の

1の「環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業」の省エネ基準引き上げなどもなされ、環境省で補助要項改正が進んでいる。宅内配管工事費助成は、個人設置型、市町村設置型とともに、合併処理浄化槽へ転換する際の宅内配管工事費(弁含む)を最大30万円(補助(市町村負担20万円)3分の2、国助成10万円)3分の1とする(図参照)。汲み取りからの転換は対象とならない。従来からある既設単独浄化槽の撤去費補助等は併せて受けることができる。

新設補助の原則廃止は、汚水処理人口



普及率の解消に直接つながる。また宅内配管工事費は通常50万円ほど要するケースが多いが、30万円を超えた分は設置者負担となる。地方財政措置は総務省と調整中。

汚水処理未普及人口の解消を目的とした制度のため、水回りのリフォームと併せて実施する合併処理浄化槽の建て替えは新設とみなし、同制度の対象とならない。従来からある既設単独浄化槽の撤去費補助等は併せて受けることができる。

新設補助の原則廃止は、汚水処理人口